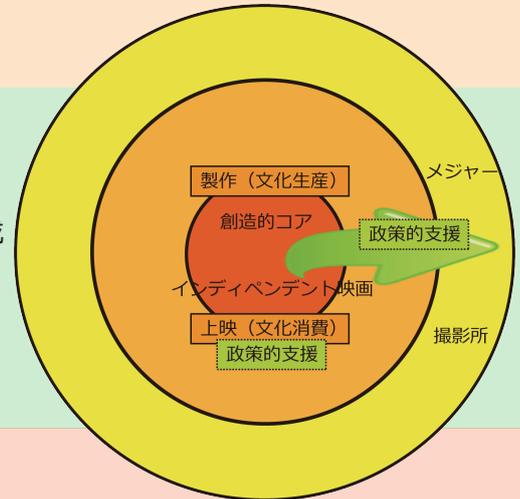


政策理念「京都におけるシネマ・ランドスケープの維持と発展」

京都映画白書、京都映画人材データベースなどを通じて、京都の映画創造環境（シネマ・ランドスケープ）を可視化する

政策趣旨

- 創造的コア（インディペンデント映画）の振興
- インディペンデント映画と撮影所をつなぐ人材交流の場の醸成
- 文化消費の側面に関わるマネジメント人材の育成
- 映画都市京都にふさわしい国際映画祭の起ち上げ
- 持続的な立案運営体制を有する政策組織の設立



政策

(1) 文化消費の観点による映画振興（創造的コアとしてのインディペンデント映画を重点的対象とした映画上映および映画保存支援）

政策 1：非映画館における映画上映の拡大とそのネットワーク化

政策 2：映画批評サイトの創設 ……①

政策 3：試写会開催支援、広報支援

政策 4：映画館／非映画館における（定例的な）ゲスト招聘の助成

政策 5：英語字幕制作、海外映画祭へのエントリーの支援 ……②

政策 6：デジタルで撮影された映画のマスター保存とフィルムレコーディング

政策 7：デジタルマスターのアーカイブ化

(2) 創造的コアの波及の促進（撮影所における文化蓄積の活用の支援）

政策 1：撮影所を活用した美術制作予算の補助

政策 2：京都映画人材データベースの構築 ……③

政策 3：ポストプロダクション機能の整備

(3) 文化的アントレプレナーの育成（映画に関わるアート・マネージャーの育成）

政策 1：ワークショップの助成

政策 2：映画に関わる教育機会の創出

(4) 国際映画祭

政策 1：ディレクター制による、競争力のある国際コンペティションの実施

政策 2：国際映画祭を担うマネジメント人材の育成

(5) 政策組織（アーツカウンシル）（創造的中核の振興における透明性、公平性の確保）

政策 1：京都フィルムカウンシルの設立

政策 2：京都映画白書の発行 ……④

政策 3：京都映画ポータルサイトの運営（①、②、③、④の統合）